

科目	学年・小学科	単位数
ビジネス情報	2年・情報システム科	3
教科書	実教出版「ビジネス情報」	
副教材	実教出版「全商情報処理検定模擬試験問題集 ビジネス情報1級」 技術評論社「キタミ式 基本情報技術者」	

1. 学習目標

情報通信ネットワークに関する基礎的な知識やその技法、ビジネスにおける表計算ソフトウェアの活用技術、データベースの活用技法を学び、その発展的な知識までを習得させ、システム開発における基礎的な知識を学ばせることにより、共同して作業をするなどの意義や重要性についても学ばせ、その能力と態度を育てる。また、情報通信ネットワークにおける基礎的な技法を習得させる。

2. 学習方法

- 授業：講義において大事だと判断されるものを自らノートにまとめながら理解していく。また、周囲の生徒と協力して問題演習を行う。
- 予習：特に予習は課さないが、事前に教科書や問題集に目を通すなどして授業内容の確認をしてもらうことが望ましい。
- 復習：授業内容の定着を図るため、問題集への取り組み及び小テストを実施する。
- 課題：単元終了時や長期休業など、復習用の課題を課す。

3. 評価の観点と趣旨

① 関心・意欲・態度	ビジネスの諸活動において、情報を主体的、積極的に活用し、将来、職場における情報活用のリーダーとなる意欲と態度を持っている。
② 思考・判断・表現	適切な手段を用いて情報を収集・処理したり、要求に応じた適切なシステムを開発するなどの思考・判断力・表現力を身につけている。
③ 技能	ビジネスにおける情報活用に必要な、情報の分析手法、システムの開発、ネットワークの構築などの技能を身につけている。
④ 知識・理解	ビジネスの諸活動に関する情報の意義や役割を理解するとともに、ビジネスにおける情報活用を実践するために必要な知識を身につけている。
⑤	

科目名	学年・小学科	単位数
ビジネス情報	2学年・情報システム科	3

学期	単元	学習内容	重点をおく評価の観点					単元の評価規準	評価方法				
			①	②	③	④	⑤						
前期中間	3 表計算ソフトウェアの利用	集計処理 複数シートの利用 グループ集計 クロス集計		○	○	○	①表計算ソフトウェアの機能を利用した分析実習に積極的に取り組み知識・技術を身につけようとしている。 ②表計算ソフトウェアを活用して、効率的な分析結果を適切に表現できる。 ③オペレーションズリサーチの手法、シミュレーションや線形計画については、ゴールシーク、ソルバーなどの機能を活用しながら、待ち行列や回帰分析の技法を交えて、与えられた条件下における最適の解を導き出すことができる。 ④様々な分析手法や活用方法を理解している。	授業観察 取組状況 グループワーク 発表 自己評価 相互評価 小テスト ノート提出 課題提出 定期考査 問題演習					
			オペレーションズリサーチの基礎	オペレーションズリサーチ									
				シミュレーションと線形計画法	○				○	○			
	待ち行列												
	ビジネス計算	販売に関する計算			○	○							
		資金繰りの計算			○								
	手続きの自動化	手続きの記録と実行											
		メニューの作成		○					○				
		相対参照で記録											
	前期末	4 データベースソフトウェアの活用	ビジネス情報とデータベース データベースの活用例 データベースの特徴 表計算ソフトとデータベースソフトの違い リレーショナルデータベースの概要	○	○				○	①データベースの作成に関心を持ち、その学習や実習に自分から進んで取り組み知識・技術を身につけようとしている。 ②業務の特性を判断し、データベースの効果的な活用方法を思考し判断することができる。 ③SQLによるデータベースの操作ができる。 ④データベースの役割、しくみ、整合性の構造やリレーションシップの意味が説明できる。SQLの文法を理解している。	授業観察 取組状況 グループワーク 発表 自己評価 相互評価 小テスト ノート提出 課題提出 定期考査 問題演習		
データベースの利用				データベースを作成してみよう									
				データを検索してみよう	○	○		○					
				フォームに表示してみよう									
		レポートに出力してみよう											
SQLの操作		SQL			○	○							
		SQLの基本操作											
後期中間		1 ビジネスと情報	情報化社会とビジネス ビジネスと情報システム 業務の改善と情報システム 個人の業務とICT	○			○	①ネットワーク社会における課題について主体的に学ぼうとしている。 ②ネットワーク社会における課題について主体的に考え、判断し表現できる。 ④ビジネスと情報の関連および、基幹業務システムに関する基本的な知識を身につけている。	授業観察 取組状況 グループワーク 発表 自己評価 相互評価 小テスト ノート提出 課題提出 定期考査 問題演習				
				ネットワークとビジネス インターネットを利用したビジネス ネットワーク社会におけるビジネスの課題	○	○						○	
			2 情報通信ネットワークの活用		ネットワークの基礎 ネットワークの構成とハードウェア ネットワークの利用とソフトウェア	○							
	ネットワークの構築と管理 ネットワークの構築手順 ネットワークの設定手順						○			○	○		
		サーバ管理 アクセス管理 ファイルサーバの管理 認証サーバの管理					○						
			セキュリティ管理 ファイアウォールやサーバによるデータ保護 セキュリティポリシーの管理 データの保護							○			
	後期末			5 ソフトウェアを活用したシステム開発	システム開発の基礎 システム開発の概要 ソフトウェア開発モデル ソフトウェアの開発手法 インタフェース設計 テストと保守	○	○					①情報処理システムの開発に興味を持ち、その設計や作成の方法を積極的に学ぼうとしている。 ②情報処理システムの開発の手順や開発モデルを理解し、各手順の目的や開発の内容を適切に説明できる。 ③表計算ソフトウェアを用いたマクロの作成技法を身につけ、判断や繰り返しなどの応用的な処理を自動化することができる。 ④判断や繰り返しのアルゴリズムを理解し、マクロを記述できる。	授業観察 取組状況 グループワーク 発表 自己評価 相互評価 小テスト ノート提出 課題提出 定期考査 問題演習
		アルゴリズムの基礎 流れ図とデータ アルゴリズムの基本設計 応用的なアルゴリズム								○	○		
			表計算ソフトウェアによる開発 プログラミング機能の利用 システムの作成							○	○		
		データベースソフトウェアによる開発 データベースの設計 データベースシステムのシステム設計 システムの作成											